

11/5
主張

安倍晋三政権による大規模な生活保護費の削減が続いている。11月からは、暖房で光熱費などが増えることに対応するために支給される「冬季加算」が減額された。生活保護費ではすでに生活扶助、住宅扶助の削減が強行され、生活保護利用世帯に大打撃となっています。そのうえ本格的な寒さの到来を前に冬季加算までカットすることは、生活保護世帯に追いつかれていた仕打ちです。生活困窮者の暮らしと健康を守るためには、中止すべきです。

冬季加算減額の影響深刻

生活保護費の冬季加算は、暖房のため需要増が避けられない灯油代や電気代をまかなうため、11月から12月まで生活扶助費に上乗せ

して支給されます（北海道などは10月～4月）。豪雪・山間地域など、寒さがひしといひで暮らす人たちにとってはもちろん、全国どこでも生活保護世帯が冬を越すうえで必要不可欠な加算です。

安倍政権は、冬場の「命綱」ともいわれる加算を今年秋から総額30億円もカットする過去最大の削減を行いました。13年末には出費の多い年末扶助のために支給される「期末一時扶助」も約70億円削り込みました。

もじれる加算を今年秋から総額30

生活保護費カット

して支給されます（北海道などは10月～4月）。豪雪・山間地域など、寒さがひしといひで暮らす人たちにとっても、全国どこでも生活保護世帯がうまれる危険が現実の

倍直面のもので、生活保護費は削減に次ぐ削減です。13年からは食費・水光熱費などをあてる生活扶助費を3年間で約670億円カットする過去最大の削減を行いました。13年末には出費の多い年末扶助のために支給される「期末一時扶助」も約70億円削り込みました。

もじれる加算を今年秋から総額30

「人間らしく」の土台を壊すな

ません。

今年夏、多くの貧困世帯はシャワーの

億円もカットし始めました。金額は、地域・世帯人數などに計算されるため全国一律ではありませんが、用8000円以上減らされる世帯も生まれます。月4000円も削られる単身世帯もあります。

崩す、歴代自民党政権のなかでも例のない容赦ないやり方です。人が少なからず存在したといわれています。

消費税増税や経済政策「アベノミクス」で食料品などの生活必需品の物価は上がっているのに、支給額が減らされるばかりでは、とにかくエネルギーなどが重症化する

貧困世帯が立ちません。貧困世帯がうまれる危険が現実の高齢や病気などで職を失った人たちが、国の社会保障削減によって必要な手立てが取られずに、命まで奪かされるような政治が許されていいはずがあり、人権・尊厳守れの声広げ

生活保護費の削減は、国民に「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する憲法25条、個人の尊重・幸福追求権をうたう憲法13条に反します。いま全国各地で削減中止・撤回を求める「保護費削減違憲訴訟」が広がっています。年金額引き下げにも削減中止を求める裁判も続いています。国民の生存権や個人の尊厳を脅かす安倍政権の憲法無視の社会保障破壊にストップをかけ、国民が大事にされる政治への転換が急がれます。

た。今年7月からアパートの家賃として支給される住宅扶助費を3年かけて約190億円削減する計画も始まりました。暮らしの安心のなかには、貧困でエアコンや冷蔵庫などが購入できなかった人、住まいの安定を土台から次々掘りました。熱中症で死亡した高齢者の中には、貧困でエアコンや冷蔵庫などが購入できなかった人、生存権や個人の尊厳を脅かす安倍政権の憲法無視の社会保障破壊に

冬場も深刻です。加算削減で最も限の暖房する確保できず風邪やインフルエンザなどが重症化する

冬場も深刻です。加算削減で最も限の暖房する確保できず風邪やインフルエンザなどが重症化する